



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第509号

2021年6月21日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

米本団地で学校統廃合計画に対するシール投票実施

八千代市は令和4年4月、阿蘇・米本地域の小中学校4校を統廃合して義務教育学校（施設一体型の小中一貫校）を開設する準備を進めています。

「阿蘇・米本の地域と学校を考える会」と「新日本婦人の会」の有志は、6月5日（土）と13日（日）の両日（午前11時から12時）米本団地のスーパー川口店前でシール投票を行いました。小学生から80代の高齢者まで短時間で109人が参加、投票してくれました。その結果は下の表のとおりです。

ご意見・考え	シール
① 八千代市の計画通りに阿蘇中学校に一貫校をつくることに賛成します	4票
② ①の意見に反対します。 団地に小学校は必要です	105票
③ その他の意見・考え	0票



圧倒的多数が八千代市の計画には反対し、団地の小学校を残すことを求めています。

「公共施設は市民の財産」を貫け

5月の市長選挙で、小・中学校の統廃合を押し進める服部市長が当選しましたが、上記の通り、シール投票では反対の声は多数で、支持されていません。

「市長は団地の声を聞くと聞いたのに聞かないのは納得できない。」「学校に通うのが大変になる。」「35歳から住んでいる。学校があって当たり前だ。なくなったらさびれてしまう。」「何が適正配置なんだ!？」等々、意見を言いながらシール投票をしてくれました。

公共施設は一体だれのものでしょうか。地域の公共施設は地域に住む人たちのものです。

統廃合計画は凍結し、子どもに真の良い環境を

6月議会で日本共産党は、統廃合問題の質問をしました。

①「小6問題」と言われる小学校高学年のリーダー性の育成ができないこと。②バス通学の無償化を打ち出せないこと。③授業時間のズレで小学生と中学生が同じフロアで隣同士のままの配置。④児童保育所が団地内に存続するかも不明。⑤災害時の避難所が確定していないこと。等々多くのデメリットや問題点を指摘しました。

八千代市は、「市民が参画するまちづくり」のために住民と十分に話し合い、計画を凍結することを求めます。

日本共産党は、市民が主役の政治をつくるために頑張ります。